

Press Release

報道関係各位

2026 年 4 月 8 日
公益財団法人日本デザイン振興会



TOKYO DESIGN
BUSINESS DESIGN AWARD

2026 年度「東京ビジネスデザインアワード」テーマ募集開始
3 か年度の伴走支援で、自社の強みを新事業へ。節目となる第 15 回目の募集開始
【応募期間：2026 年 4 月 8 日(水) から 6 月 25 日（木）まで】

東京都が主催し、公益財団法人日本デザイン振興会が企画・運営する「東京ビジネスデザインアワード（TBDA）」は、第 15 回目となる 2026 年度のアワードへの参加企業の募集を本日より開始します。

TBDA は、都内中小企業が持つ高度な技術・素材などの「テーマ」に対して、全国のデザイナーが新事業・新製品の提案を行い、双方で実現をめざすためのアワードです。受賞発表をゴールとせず、マッチング成立後（企業とデザイナーによるチーム結成）は受賞年度を含む 3 か年度にわたり、製品開発・事業化・知財取得・広報まで、審査委員会をはじめとする専門家チームが一貫して伴走するプログラムとなっています。

2012 年の開始以来、120 件以上のテーマが採用され、25 件以上のプロジェクトが事業化・商品化に至っています。自治体主催のデザインコンペとして類例の少ない、長期・多面的な支援体制が本事業の最大の特徴です。

「自社の強みでどんな新事業ができるか分からない」「デザイナーと組んでみたいが、一人では進められない」——そのような悩みを抱える都内中小企業の経営者・担当者の方々に、ぜひご応募いただきたいアワードです。

【このような課題意識を持つ、都内中小企業の方に】

- ・「下請け体質を変えたい。でも自社だけでは、新事業のアイデアも進める人手も足りない」
- ・「売上の新しい柱を育てたいが、何から手をつければいいのか、誰に相談すればいいかが分からない」
- ・「自社の技術や素材が、全く別の用途で輝くかもしれない——その可能性を誰かと一緒に探りたい」
- ・「若手に外の刺激を与えたい。社内に新しい風を入れたい」
- ・「デザイナーと組んでみたいが、初めてなので、安心してスタートできる仕組みが欲しい」

これまでの参加企業の多くが、上記のような課題意識から応募を決断しています。まずは「自分たちに何ができるか」を確かめる機会としてでも、ぜひ一度ご検討ください。

<アワードのポイント>

① 3 か年度の伴走支援

テーマ賞受賞後、受賞年度を含む3か年度にわたり、専門家による伴走支援を実施します。2026年度は、自社の強みを整理しデザイナーとマッチングするコンペティションの期間です。マッチング成立後の2027～2028年度は、出会ったデザイナーと共に製品開発・事業化を進める実現化支援の期間となります。製品開発・事業化に向けた実践的なアドバイスやセミナーを継続して提供します。

② 産業財産権取得費用の補助（最大50万円/チーム）

実現化するビジネスを守るため、意匠権・商標権などの産業財産権取得に必要な費用を1チームあたり最大50万円まで補助します（適用条件あり）。



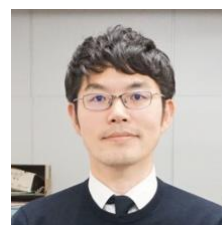
【参加企業の声】

「素材や色、作りなどにこだわって大切に作ってきた製品を、自社だけの力で販売につなげることがとても難しいと感じていました。東京ビジネスデザインアワード応募のきっかけは、新商品開発だけではなく、悩んでいた販売方法やマーケティングについても一緒に考えていただけるデザイナーさんとのご縁をいただけたらという希望がありました。デザイナーさんの視点で、今あるアイテムを見せ方や販売の方法を変えることで新しいお客様へアプローチしていくことができる、そのような可能性があることを実感しています。」



有限会社東屋 代表取締役 木戸 麻貴氏（2020年度優秀賞）

「今のビジネス環境においてデザインは必要不可欠な事柄ですが、中小企業がその必要性を感じたときに、デザインをサポートしてくれるパートナーを自力で探すことになります。しかし、その探し方をはじめ打ち合わせや提案デザインの検討など、パートナーの選定には多くの時間と手間が必要です。本アワードでは、すでに自社の強みや課題などを伝えた状態から審査を経たデザイナーの提案とダイレクトに出会えるため、マッチング後はすぐに課題に対しての具体的な打ち合わせへ進むことができます。このスピード感が大きな魅力だと感じました。」



株式会社研恒社 代表取締役 神崎 太一郎氏（2019年度テーマ賞）

<ビジネスマッチング実現化事例>

「wemo」 2016年度優秀賞



株式会社コスモテック（立川市）×今井裕平、林 雄三、木村美智子
【kenma Inc.】

企業が持つ「水なしで肌に直接貼れる、特殊転写シール」技術を活用し、デザイナーは、腕や手にペンで直接書く「手メモ」の問題解決としてプロダクトを提案し実現化。現在は各種タイプを販売し、メディア掲載も多数。バリエーションも増え「wemo」シリーズとして累計100万個を売り上げ国内外で展開している。事業開始3年で、既存事業の利益率の3倍、全社売上の15%を占める事業に成長。

<https://www.wemo.tokyo/>

「さかなかるた」 2020 年度最優秀賞



株式会社千葉印刷（渋谷区）× SANAGI design studio

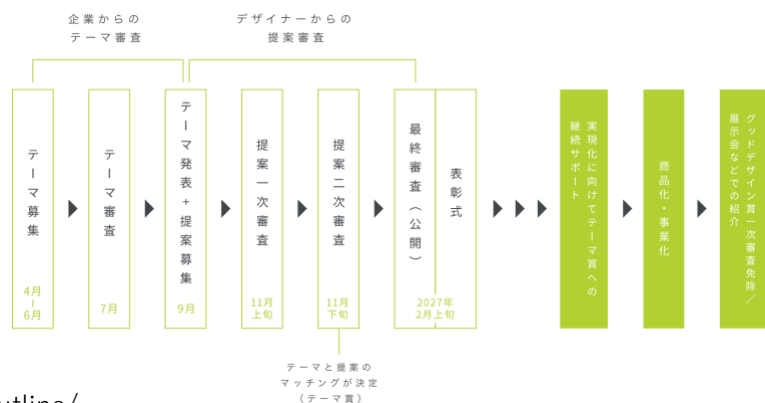
企業の強みである「42 億色の表現・メタリック印刷が可能なオンデマンド印刷機」に対し、デザイナーとのマッチングで生まれたのは、魚の表皮（模様や色）のみで何の魚かを当てる「かるた」。魚が光を反射する時のキラキラ感や、ウロコの凹凸感を特殊な印刷技術で再現しており、見て楽しむのはもちろんのこと、目を閉じて触ったり、水に浮かべたりして遊ぶことができる。2022 年度グッドデザイン賞「グッドフォーカス賞（技

術・伝承デザイン）」を受賞。

<https://sakanakaruta.theshop.jp/>

<2026 年度の主なスケジュール>

- ・テーマ募集：6 月 25 日（木）まで
- ・テーマ発表・デザイン提案募集：9 月～10 月
- ・マッチング決定：11 月
- ・テーマ賞発表：2027 年 1 月
- ・最優秀賞・優秀賞発表／表彰式：2027 年 2 月



<https://design-award.metro.tokyo.lg.jp/outline/>

<2026 年度東京ビジネスデザインアワード 審査委員会>（敬称略）

審査委員長：秋山 かおり プロダクトデザイナー / STUDIO BYCOLOR

審査委員：

谷口 靖太郎 デザインエンジニア

日高 一樹 特定訴訟代理人・弁理士、デザインストラテジスト / 日高国際特許事務所所長

坊垣 佳奈 株式会社マクアケ 共同創業者 / Xinobi AI株式会社 非常勤取締役 / 品川女子学院 顧問 / サツドラホールディングス株式会社 社外取締役

宮崎 晃吉 建築家 / 株式会社 HAGISO 代表取締役

八木 彩 アートディレクター、クリエイティブディレクター / アレンス株式会社 代表取締役

柳沼 周子 バイヤー / 株式会社エンファクトリー

<「企業向け」オンライン個別相談>

TBDA への応募を検討する方向けに、オンラインでの個別相談を実施します。参加希望の方は、タイトルに「オンライン相談希望」と明記の上、以下を記載して、事務局までメール（E-mail：tokyo-design@jidp.or.jp）でお申し込みください。

・企業名／ご担当者・参加者氏名（複数可）／電話番号／E-mail／業種

・ご希望の日程

（土日祝を除く 10:00-12:00、13:00-17:00 の任意の時間より、3 つ以上希望日時をご連絡ください）

<2026 年度東京ビジネスデザインアワード 企業応募概要>

■募集期間 4月8日(水)～6月25日(木) 当日消印有効

■応募資格 東京都内の中小企業または個人事業主

■賞・賞金 (応募技術、素材がテーマとして選出された後、デザイナー提案とのマッチングを経て最終審査にて決定)

・最優秀賞 1件 副賞：賞金 100 万円 (企業／デザイナー各 50 万円)

・優秀賞 2件 副賞：賞金 20 万円 (企業／デザイナー各 10 万円)

・テーマ賞 デザイナーとのマッチングが成立した各テーマに対し贈賞。

※審査の結果「該当なし」となる場合があります。

■応募費用 無料(交通費、通信費、送料など実費は応募者負担)

■応募方法 ウェブサイトより募集要項・応募用紙をダウンロードし、必要事項記入および必要書類を添付の上、下記の東京ビジネスデザインアワード事務局に郵送。

(書類は 6 月 25 日 (木) 当日消印有効)。

・東京ビジネスデザインアワード事務局 (公益財団法人日本デザイン振興会内)

〒107-6205 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー5 階

TEL：03-6743-3777 E-mail：tokyo-design@jidp.or.jp

・東京ビジネスデザインアワード ウェブサイト

<https://design-award.metro.tokyo.lg.jp/award.html>

<本件に関するお問い合わせ>

東京ビジネスデザインアワード事務局(公益財団法人日本デザイン振興会)

Tel：03-6743-3777 E-mail：tokyo-design@jidp.or.jp
